

健友 KENYUU

板橋区退職者会会報

第91号 現在の会員数487名

1月号 (令和6年) 2024.1.20

発行 板橋区退職者会
編集 会報部
印刷 株式会社弘文社

謹賀新年 令和六年 元旦

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

「東京で一番住みたくなるまち」の 新たなステージに向けて

板橋区長 坂本 健



失われた日々を取り戻しましょう
明けましておめでとうございます。



退職者会におかれましては、昨年5月の総会に約100名もの会員の参加や11月には、4年振りに宿泊旅行を実施されるなど、コロナ禍以前の様々な活動が徐々に再開され、より一層会員間の親睦を深められたと伺っております。

また、職員作品展への出品、ウォーキング大会への参加・運営サポートなど、区の事業にご協力をいただき、ありがとうございます。

さうには、区の平和都市宣言記念事業による中学生の広島・長崎への訪問に合わせて作成いただいている原爆死没者に捧げる折り鶴を、4か年続けて現地に送つていただくなど、変わらぬ区への積極的なご支援に深く感謝を申し上げます。

さて、昨年の区政を振り返りますと、5月に板橋区はモスバーガーを展開する株式会社モスフードサービスと観光振興や子育てや次世代育成などの6分野において相互に連携していくため「地域活性化等に関する包括協定」を締結しました。板橋区にとつて外食企業と包括連携協定を締結するのはこれが初めてとなります。双方の資源とノウハウが相乗効果を生み、持続可能な社会づくりに大きく寄与すると考えています。

また、9月には多種多様な全22種目のスポーツを体験できる区内初のスポーツイベント「第1回スポーツフェスティバル in 板橋」を開催し、延べ1万人を超える方が参加しました。今

挨拶を申し上げます。

今年こそ様々な活動の中で、より多くの会員の皆様に参加していただき、お話しする機会が増えればと考えております。

板橋区退職者会会長 茂木 良一

一方、一日後の健友の活動では、課題も明らかになると考
えられます。それはコロナ禍で巣篭り生活が長かったこともあり、
皆様が出不精になってしまったこと。無論、4歳ぐらいの年を取
たことも影響しているとは思われますが・・・。
様々な事業を再開しておりますし、趣味部でも活動が活発に
行われておりますが、その活動に参加されている会員の方は、限
られてきたようになっております。
今年こそ様々な活動の中で、より多くの会員
の皆様に参加していただき、お話しする機会が増
えればと考えております。
また、コロナ蔓延期間中は、所を二建友と人

はじめに、能登半島地震に際し、心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り申し上げます。さて、ここ数年、社会生活に色濃く影響を与えた新型コロナウイルス感染症も大きなニュースとして取り上げられなくなりました。実際には根絶したわけではありませんが、皆様一人ひとりがアフター「コロナ」の生活を「ごく自然に行つて」いるように思えます。昨年の健友の活動も、以前のように再開しております。総会の後に懇親会を実施することも出来ました。また、日帰りのバス旅行に加え、一泊二日のバス旅行も実施することが出来ました。更に、最も実施が困難と考へておりました歌声喫茶も行うことが出来ました。

会員の皆様には、健やかに新年を迎えたことをお喜び申上げます。

はじめに、能登半島地震に際し、心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、二三政界、社会生活、経済、影響などをござることで、

会される方が減ったように感じております。
今後は健友のホームページも本格的に立ち上げましたので
様々な活動を発信し、皆様に健友の魅力をお伝えできればとぞ
えております。

板橋観光 アラカルトシリーズ

をいただいてる坂本区長はじめ多くの現役の皆様に感謝申し上げ、お元気でご活躍されることをお祈り申し上げます。

大会の会場となつたあずさわスポーツフィールドは、令和2年7月に東京2020大会に向けたシンバル・レガシーとして誕生したものです。後もあらゆる世代が様々なスポーツを楽しみ、チレンジする機会を創出する中心会場として、板橋区のスポーツを全力で盛り上げていきたいと考えています。

11月からは、パートナーシップ関係にあることの宣誓書を提出したカップルに対して、宣誓書受領証を交付する「板橋区パートナーシップ宣誓制度」を開始しました。宣誓書受領証により、保育施設入所申込に関する事務など、様々な区民サービスを利用が可能となります。本制度が、性的マイノリティ当事者非当事者に関わらず、すべての区民に重要な施策として認知浸透され、多様性への理解促進につなげていきたいと考えています。

会員の皆様には、今年一年が失われた4年間を取り戻せる、うな充実した年になるよう心よりお祈り申し上げます。

末筆になりますが、健友の活動にご理解、ご協力をいただいている坂本区長はじめ多くの現役の皆様に感謝申し上げ、お元気でご活躍されることをお祈り申し上げます。

令和6年度は、現在改訂中の「いたばしNo.1実現プラン2025」を着実に推進していく重要な年となります。これで取り組んできた重点戦略の成果を踏まえつつ、「未来を担うづくり」・「魅力あふれる元気なまちづくり」・「安心・安全な環境づくり」の3つのチャレンジの視点から、「SDGs戦略」・「X戦略」・「ブランド戦略」のさらなる展開を図り、SDGs目標である2030年や、次期基本計画を見据えながら、「京で一番住みたくなるまち」の新たなステージをめざしてまいりますので、引き続き、退職者会の皆様には、さらなるご支援ご協力をお願いいたします。

結びに、退職者会のご発展、会員並びにご家族の皆様方の益々のご多幸とご健康をお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

国内では当館でしか見られない希少な魚である。様々な熱帯樹木におおわれた小道はどこか異国情緒あふれ心地よい。さらにはせせらぎの音に誘われて足を向けると、高山植物の小さな可憐な花にも出会えた。企画・広報担当の平井真一郎氏によると、スタンプラリーは子供たちに人気のこと。世界的に地球環境問題が大きく論じられる昨今であるが、大人も子供も楽しみながら環境について学べる役割の大きい館内であることが感じられた。

書籍コーナーには植物関係の本や図鑑が豊富にあり、日本の植物学の父と言われた牧野富太郎博士の貴重な図鑑もあり、手に取ってみることもできる。



板橋区退職者会事務局
場所：板橋区役所9階
正面玄関側エレベーター
トイレ左奥「総務課分室」
・水曜休み
住所：〒173-8501
板橋区板橋2-66-1
総務課内
電話：03-3579-2749

お出掛け大好き

丸田 静枝
昭和15年(84歳)

7回目の干支を迎えて此處までの生活を振り返った。退職してから24年、お陰様で楽しい日々を過ごしています。一時期、狭窄症で100メートル歩くのも大変な時もありましたが、スマホで松本の整体院を探し、探し当てた整体院の施術が効をなし、2回の施術で足腰は軽くスムースに歩ける様になり、帰りには松本城まで歩き、その後松本駅までも歩いて帰ってきました。3回目の予約はキャンセルしましたが、先生には心から感謝しています。今は普通の生活を送り、月2回の機織り、4回のヨガ、2回の陶芸、2ヶ月に1度位行う児童の冒險や遊び、又、幼児の自主保育のボランティア等々、先日はもと同僚の若い友人が訪ね3人で白馬にも行き楽しんできました。何時も出掛けけるのを楽しみにしています。地域の若い方々にお声を掛けさせていただき何時も出掛けています。

すべての日々に感謝！を込めて 岸 二三夫
昭和15年(84歳)

新年おめでとうございます。健友の皆様には健やかに新年を迎えたこととお慶び申し上げます。若い頃は84才まで生きてこられるとは、夢にも思っていませんでした。ここまで生きてこられたのも両親が丈夫に産んでくれて、育ててくれたことに感謝しております。そして、結婚生活58年の長きにわたって、私を支えてくれた妻が健康には特に気を配ってくれた賜ものと感謝します。25才で板橋区役所にお世話になって、35年間全ての職場で良き先輩に、また、後輩に恵まれて無事に卒業することが、出来ましたことに深く感謝しております。本当に有難うございました。

一昨年前に道路拡張のため、練馬区の氷川台から豊玉中に引越してきましたが、80才を過ぎてからの引越しで腰を少し痛めてしまいました。生活には支障はなく暮らしております。

健友会の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

『父の愛』

森川 京美
昭和27年(72歳)

「お父様が近衛兵でられたの凄いわね。家柄が良くて、本人が優秀でなくてはいけない。それに馬上の姿が格好良くなきや成れなかつたのよ。私たちの憧れだつたわ」父と同世代のご婦人の弁。そう言えば、大学の恩師からも同様の言葉を戴いたが、何がどう凄いのか、父に尋ねもしなかつた。

父はひょうきんでとても優しかった。たまに酔って帰ってくれば「まるちゃん〔父の付けた愛称〕踊ろう」と幼児相手に社交ダンス。そんな父を見た時の友達から「羨ましがられた」と聞かされた。職業柄かもしれない。大手化粧品は勿論、フランスやアメリカからの輸入品を担当し、美容師としてメイ・ウシヤマ氏〔ハリウッド〕から直に修了書を戴いている。販売促進のためデパートや地方への出張・接待も多く、その都度「おみやげ」を提供して帰宅だった。

「今日は何もないよ」と言う父をまるちゃんは許さない。3歳の私は両手を一杯に広げ「上がっちゃ駄目」と通せんば。母は「お父さんは会社におみやを買ひに行ってるのじゃないのよ」と諭すが、一向に譲らない。根負けした父は私を抱きかかえ、大好きなベコちゃんを買ひに行くのが常だった。それも大箱の『手提げのベコちゃん』である。

父の趣味はカメラ。上から覗き込むドイツ製やキャノン・ニコンなど数台持っていた。休日には、一升瓶を提げ牧場に牛乳を買ひに行くとき、近所の神社仏閣、はげ山〔毛呂山〕や周辺の麦畑、満開の桜の枝が水面に触れんばかりの石神井川、『日本橋』のたもと、四季折々の名所旧跡〔現地で全て解説付き〕を背景に写真を撮った。私の自慢は小1の春、父と二人で行った上野動物園でのカラー写真。カラーが珍しかった頃で家族中が私が最初であった。

兄弟がそれぞれの道を進み、私も大学進学を希望した。母は父の還暦を理由に短大を勧めたが、母の言葉が不満で父に直談判。「行きたいなら、お粥をすすつても行かせてあげるから」との言葉を沈痛な思いで受け止めた。

そんな父からカウンターパンチを食らった。大学1年の暮れ、交通機関が全面運休という事態に、友人宅に止まりたいと電話をした。母から父に取り次がれ予想外の一言「歩いてでも帰って来い」取り付く島もない。父の差し金なのか、次兄が思い切ったのか「何とか池袋までおいで、自転車で迎えに行くから交番の前で待ってなね」今にして思えば、生涯一度だけ反対された言葉だった。その翌年のこと我が家に自家用車が届いた。

そして私の人生の危機、極小数職場で相方の対応が原因で過食、うつ状態と診断された。電話で上司に訴えるが、軽くあしらわれている様子に「貸してご覧」と父の手が受話器に伸びた。状況を伝え二言三言加え、話は終わった。「あのね、相手の人は大学を出てないそだよ。育ってきた境遇も随分と違うようだから、相手の言動に振り回されない事だね」と。父の言葉と対応に心は開放され体調も少しづつ改善し、職場も変わることが出来た。

父は、怒りの感情を表に出さない人であったが、理不尽な言動を取る人間に対しては激怒する。父の眼光は鋭く誰もがひるむ何かを秘めていたが、私には優しい父の印象が強い。

平成3年だった。上野広小路での転倒がもとで亡くなつた。健康で入院など一度も無かったのに、この入院が最初で最後だった。亡くなつたその時、私の両の肩に途轍もない重みを感じたのを今も思い出す。

これは酒のつまみの話。「お父さんの愛だね」と友人に言わされた。父の様々な愛の形とその偉大さと温もりを今、改めて再認識した不肖な72歳の娘である。

この期を下さった事務局関係者の皆様に深く感謝致します。

根高上土横越岡森
本橋戸屋山沼村田
典正孝宏忠和明泰
一子郎利二彦己彦夫

喜寿
(昭和22年4月2日～昭和23年4月1日生まれ)

小佐池栢荒鈴金
倉藤上本井木井
民昭昌三泰常
江弥子郎治夫晃
勝鈴中川中荒小
部木村口原地野
道裕登義京孝
子志子忠子快司

おめでとうござります。
これからもお元気でご活躍されることをお祈り申し上げます。



祝
長
寿
万
歳

米寿
(昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生まれ)

武村中木内五十
居木村郵田嵐
正賢君友増達
次司位子夫雄

昭和27年(72歳)

11人

森岩清速浅
川間原水島
京修照陽和
美二子子夫

平岩宗山柳小菅香
井田像田林原川
ひとみ清子貢子志男子

昭和15年(84歳)

16人

菊田曾吉丸吉橋松岸
川賀田田本崎
順八重のり静セ和ケイ
二三子子枝子也子夫

昭和15年(84歳)

27人

辰

年男 & 年女

辰年生まれの思い

吉田セツ子
昭和15年(84歳)

辰は十二支の中でも最も縁起の良い干支と言われており、様々な願いを叶えてくれるだけではなくあらゆる物事をいい方向に導いてくれる力があるとされています。今、世界では戦争があつたり物騒がしい出来事が多いです。今年こそは辰に願いを込めて、平穡な世の中であつてほしいと心から思います。私自身も辰年は縁起の良い年ということで、良い年であるよう心から願います。先日、久しぶりにウクレレ仲間の6名で那須高原に2泊の旅をしてきました。自然に触れ温泉に入り、お喋りをしたりして、日頃の雑事から離れ、皆さんと一緒に寛ぎ楽しい時間を過ごしました。年を重ねても健康であれば旅にもいきれるので、日頃から、体づくりを心かけて皆さんと出掛けられるよう頑張りたいです。

“あ”という間の十数年

中村君位
昭和27年(72歳)

退職して十数年。六回目の年女を迎える。区役所在職では満員電車に揺られての仕事や家事と多忙を極め、地域の活動になかなか参加できませんでした。今は地域や婦人会の活動に加わり忙しく過ごしています。市民祭りではお饅頭つくりを、神社の夏祭りでは民謡流し等、地域に行事に参加し、地域の皆さんとコミュニケーションを取り楽しく過ごしております。年を重ねるごとに足腰の衰えを感じ、区役所時代に参加していた阿波踊り「けやき連」に再度参加し、区民祭りや農業まつりで楽しく踊らせて頂いております。私の住む「まち」は、埼玉県の市町村で女性の健康寿命で一位に輝いた街です、まだまだ長い人生。体力を維持しつつ、一年一年を楽しく過ごして行きたいと思います。皆さんも楽しく、元気な日々をお過ごしください。

また辰年がやってくる 浅島和夫
昭和27年(72歳)

そうか、今年は辰年、72歳か！思えば、テニスを始めたのは50歳。それから休みの日は、ほとんどテニスに没頭してきた。

おかげで退職してからも退屈することなく、足腰も全く衰えを感じない。

数か月前、私のコーチが人事異動で転出てしまい、若いコーチにバトンタッチすることとなった。

最初のレッスンで、「浅島さん、最新のテニスにチャレンジしませんか？」と言われた。やってみると、昔、「それをやってはいけない」と教わったことが、現代テニスでは、逆にやるべきことになっているという。

ラケットなどの用具が進歩しているので、「昔習ったことはすべて忘れてくれ」と言う。

しかし、身体に沁みついてしまっているので、どうしても昔どうりやってしまう。

毎レッスン悪戦苦闘だが、新しいことに挑戦するって、こんなに楽しいんだと思い起こさせてくれた。

コーチは、「年配の方は、ご自分のスタイルをなかなか崩そうしてくれないんですよ。」と言う。

若いころからテニスをやっていた人たちは、それなりの実績や自負があるのだろうが、幸いなことに、私は始めたのが遅いので、あまりこだわりがないのかもしれない。

AIの出現で、世の中大きく変わろうとしている。

「年齢を重ねたものが老人なのではない。学ぼうとする」と放棄したものが老人なのだ。」と誰かが言っていた。

テニスに限らず、これからもいろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。

今年も健康な年に！

香川朋子
昭和15年(84歳)

辰年生まれの人には人を強く魅了するカリスマ性と、周りにいる人たちを自然と巻き込む大きな影響力が備わっているといわれていますが、今年もマイペースで、健康づくりに励んでいきたいです。また、自助努力で自分のできることは自分で行いまわりの方と協力していきたいです。

お酒会

曾布川八重子
昭和15年(84歳)

今年8回目の辰年を迎えます。辰年生まれの女子は勝気の天性を持ち、处世的には“優しい”などと言われてもいますが、残念ながらどうも私は当てはまらないようです。思い返せば、皆さんに支えられて何とか今まで生きてこられたような気がします。

今の楽しみは「お酒会」と名づけた3人組の会です。ときどき集まつては、昼飲みをしながら楽しくおしゃべりをしています。最近ではちょっと名古屋まで小旅行にも行って楽しんでいます。この3人の結びつきのきっかけは、亡き高木芳久さん作ってくださった健友ダンス部です。現在は活動を終えていますが、今でもこうして私達が仲良くしているのを見たら、(あの世とやらで)高木さんも喜んでくれているかなと思います。このお酒会以外では、老人会「青葉クラブ」で、板橋区でも推奨している“10の筋トレ”・茶話会・手芸などを、週1回楽しんでいます。

参加者の中で、一番の高齢になりましたが、もう少しの間参加させていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

「7回目の辰年(84歳)を迎えて

想い出すな～あの時この時

山田貢
昭和15年(84歳)

昭和34年4月赤塚支所民生係に配属、戸籍事務、軍人恩給、米穀通帳発行・国民年金高齢者給付を開始など、そしてなんと赤塚支所には鍛冶屋さん、真っ赤なコーストと金槌・轍(ふいご)のリズム。昭和36年春先強風のあおりを受け四葉地区に大火災が発生(数軒の農家焼失)・昭和30年後半から昭和40年半ばに徳丸田んばが高層住宅高島平団地に開発、昭和47年1月20日高島平出張所開設、東洋一の高層団地、転入者毎日500件以上の膨大な事務処理、のちに自殺の名所と化した。昭和50年初頭トイレットペーパー買占め問題。時を同じく卓越した名物収入役に出逢い仕事・人生について指導を受ける。今も感謝！感謝！この続きは、文量の指定により8回目の辰年に投稿することを約束いたします。

現在私は至極元気で、地域のまちづくりボランティアに奮闘中、健と多くの友達が私の財産です。人生100年時代、まだまだ頑張ります。

「龍が如く」ではない日々

武居正次
昭和27年(72歳)

本年は辰年で、私は6度目の年男になります。と書きましたが、普段は十干十二支など全く気にしないで生活しています。

そんな私ですが、一度だけ辰年生まれであることを意識したことがあります。

それは5年位前のお正月のテレビで、今年の最強運勢は辰年生まれの蠍座の人ですと占い師の方が話しているのを見た時です。

私は11月生まれの蠍座で、しかも妻も辰年の蠍座です。これはもう今年はものすごいことになるぞと二人でハイタッチしました。

結果ですか？宝くじの高額当選もなく、競馬の大穴も取れず、ドラマチックなことは特段何も起りませんでした。それでも何とか1年を無事に過ごせたことを感謝してその年は終わりました。

これから先、できれば7度目、8度目の年男を迎えるように、健に留意して日々穏やかに過ごしていきたいと思います。

「人生最高の文と」

五十嵐達雄
昭和27年(72歳)

1月6回目の年男を迎えました。

退職から再任用を経て家に閉じこもって早7年になろうとしております。

現在、定例の飲み会を月1回10人程で元区OB先輩や後輩達と人生について語り合っています。中身はいつも病気のことや死について、若い時に語った、恋バナとは別物でこれもまた面白い。そして区に勤務していた時のことなど、話せる仲間がいることは歳をとった事を忘れる。もう他界して来られない方もいますが、それはお酒の勢いで思い出しております。

また、数人欠けましたが区OB職でゴルフを楽しんでいます。私は殆んど身体を動かさない毎日を過ごしていますが、私の仲間は恐るべし皆元気な70代です。皆様も人生1日が楽しく暮らせるよう願っております。

これからも希望は大きく、アクティブシニアになりたいなあ～等と思っております。



稻鳥森弓染吉田
葉山多谷田村
至由隆清弘
代孝子栄廣郎治

喜寿
(昭和22年4月2日～昭和23年4月1日生まれ)

小佐池栢荒鈴金
倉藤上本井木井
民昭昌三泰常
江弥子郎治夫晃
勝鈴中川中荒小
部木村口原地野
道裕登義京孝
子志子忠子快司

おめでとうござります。
これからもお元気でご活躍されることをお祈り申し上げます。



祝
長
寿
万
歳

米寿
(昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生まれ)

武村中木内五十
居木村郵田嵐
正賢君友増達
次司位子夫雄

昭和27年(72歳)

11人

森岩清速浅
川間原水島
京修照陽和
美二子子夫

平岩宗山柳小菅香
井田像田林原川
ひとみ清

『リレー随想』『ふらり金沢さんぽ』 中島 実

新年、明けましておめでとうございます。新春を迎え、会員の皆様の益々のご多幸、ご健康をご祈念申し上げます。今回1月発行の『リレー随想』執筆の機会をいただきましたので、私のふるさと「金沢」を私好みの視点で紹介させていただきます。

先ず紹介の前に、本年1月1日に起きました令和6年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被害を受けられた皆様の安全と早期に平穏な生活へ戻されることを心よりお祈り申し上げます。

さて、私は石川県金沢市生まれで、18歳まで過ごしました。両親は数年前に亡くなり、家も売却しましたので、現在は年に3、4回程度墓参りと幼なじみとの会食などを目的に訪れる程度となりました。昨秋10月下旬には金沢で墓参りをした翌日、「白山白川郷ホワイトロード」をドライブしました。天候に恵まれ、青空が広がり、雪を被った白山と素晴らしい紅葉を満喫することが出来ました。白山登山はちょっと辛いという方にはこちらがお勧めです。

<城下町金沢について>

まちの誕生は、1546年に加賀の一向宗徒が金沢御堂と呼ばれる寺院を建立したことから始まり、御堂を中心にもちが発展しました。1583年に前田利家が金沢城に入城し、城下町の基礎が築かれました。そして前田家は特に工芸や芸能の発展に力を注ぎ、江戸時代には政治・経済・文化の拠点として発展してきました。戦災を受けなかったこともあり、歴史的建造物やまちなみのみならず、伝統工芸、芸能、食文化もしっかり受け継がれ、観光都市金沢として愛されています。

<金沢さんぽ>

「金沢」は兼六園や金沢城、武家屋敷、金沢駅鼓門、近江町市場などが有名な観光地ですが、それほど有名とは言えない「お勧めスポット」を、街の東から西へ散歩したいと思います。

それでは駅でバス一日券を購入して「金沢さんぽ」を楽しんでください。

最初に橋場町交差点にある「金沢芸術館」を訪れましょう。金沢にゆかりの深い五木寛之の作品や直筆原稿、愛用品が展示されていて、入場料も100円と安価で一見の価値があると思います。ここから「くらやみ坂」を下り、五木が好んだ主計町を経て、「浅

野川」を渡り、「ひがし茶屋街」へと足を延ばしてみましょう。和菓専門カフェや加賀麺の和スイーツも堪能でき、金沢らしい風情を味わうことが出来る界隈です。

次は、兼六園や金沢城を経て、21世紀美術館の近くにある「鈴木大拙館」に向かいます。金沢出身の仏教哲学者・鈴木大拙の思想や足跡を伝える施設で、自由に思索できる空間でゆっくりと時の流れを感じるものもあります。

心を癒した後は、「香林坊」の裏の「長町武家屋敷跡」へと向かいましょう。豊富な水量の「鞍月用水」が流れる小道を歩き、「せせらぎ通り」沿いの美味しい飲食店で昼食をとるのもお勧めです。

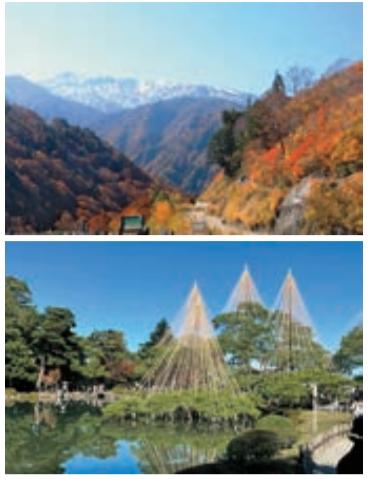
食後は市の南西部の高台、「野田山～大乗寺及び丘陵公園」に足を延ばしてみましょう!ここは私が住んでいた「寺町」の奥にあり、小学校の頃の遠足やスキーを楽しんだ場所です。野田山には前田利家一族が眠るお墓があり、「大乗寺」は緑が濃い禅宗の寺院です。その上にある丘陵公園からは金沢の市街地や遠く日本海を眺めることが出来、穏やかな気持ちは浸れるスポットです。

お孫さんを連れていくなら寺町寺院群にある、様々な仕掛けが観光客に人気の「妙立寺」(通称・忍者寺)も良いと思います。他にも「にじ茶屋街」など紹介したい場所は数多くありますが、きりがありませんね。

夜は「金沢おでん」や「回転寿し」、「海鮮料理」の店で当地でしか味わえないガス海老や赤イカをさかなに、美味しい地酒を楽しんでみてください。冬季、懐が許すなら豪華に「カニ」もいいですね。

最後に、能登半島地震の復興にあたり、会員の皆様のご支援ご協力を宜しくお願ひいたします。復興への一助として、観光へ…

「いきまし! (行ってください) かなざわ・能登へ!」



カタマリカラ

妙立寺

